

吉田寮入寮パンフ用文章 文責：しろー（京都精華大学）

初めまして。京都精華大学のしろーです。

京都での住居を決めかねているそのきみ！いますぐ吉田寮にはいったほうがいい！

と書きたくなるぐらい天国に一番近い場所、吉田寮とは一体何なのか？寮外生（寮生以外の事を寮外生と呼ぶみたい）の立場から簡単に書きたいとおもう。

僕が吉田寮に関わったのは数年前、まだうら若き予備校生だった時代だ。世の中なんもおもしろい事ないなー、と思って勉強もサッパリ手につかず、ぶらぶらしていたとき偶然目の前に吉田寮は現れた！

なんだここは！？まず建物がどう見ても廃墟！  
コタツは廊下にあるし、ゲームを24時間している奴や、麻雀ばかりしている奴がいる！  
かと思えば、普通に整頓された部屋でFラン私大生からみれば意味不明な勉強をしている！  
何だここは？ カオス過ぎる！

当時まだ何も知らなかった僕はいつぺんにその魅力にとりつかれた。当然のように寮祭に参加し、ヒッチハイクレースや鴨川レースを体験し、頻繁に行われる酒盛り（当時すでに浪人しまくっていた）・イベントに行きまくった  
世の中にこんな楽しい事をやっている人たち、場所があるのか？  
とにかく楽しい！というのが入り口だった。

しかし本当の吉田のすごさを知ったのはそのあとだ。

まず敬語がない。いや使っている人はいるのだが別に無理して使わなくてよい。  
留学生も多いし、この閉鎖的な制度のあほらしさをみんな知っているのかもしれない。  
最近の寮生・寮外生の感じは知らないが、僕が通っていた当時は敬語を使うと逆に怒られたりしたもんだ。  
これがないと本当にいいことばかり。まず、むかつく年上、バカな先輩に

ストレートに「バカ」と言える。

その上、年下が僕の顔色を伺って本音を言わないということが少なくなる。つまり、議論がめちゃくちゃしやすい。というか、敬語が存在する議論なんて議論じゃないだろ。

と思うようになるほど、この感覚は新しかった。

うちの大学はくだらない体育会系上下社会なので、同年代以外のつながりが希薄で、

本当に面白くない。先輩が来たら後輩が急いでコップを用意して、酒をついでいる姿、

つながっているバカな先輩の顔を見ると、あほくさくて笑ってしまう。

吉田だったら自分でつぐか、まってもきっと誰もついでくれない。

飲みたくない奴はのまなくていいし。そう、とにかく何かを押し付けられる場面が少ない。

(のちに無理やりつぐ行為をアルハラと呼ぶという事を知ったが、上下関係がなければそんなもん起こらない。うちの大学ではもちろん日常茶飯事で、それを良い伝統だと信じてる奴までいる。急性アル中で勝手に死ぬのは自由だが、殺したらどうするつもりだ。)

のちに精華大学にはいってわかったが、大学生はみんなこんなのではなく、つまらない中学校とかと同じで上下関係やうっとおしいことばかりだ。

京大でも、ふつうのサークルや学部の中ではそうなのかもしれない。

一生そういう関係で生きていたら、多分ものも自由に言えないし、誰かと話して得る広い視野を持つことはないだろう。

あとは、制度/運営。細かいことは寮外なんでわからないが、吉田では大抵のことを寮生自身で決めている。

大学側はいやがってるみたいだが、これが結構すごい。

新入寮生を選ぶのも寮生だし、寮の細かい運営のほとんどに細かい委員会を自分たちで作って対応している。

老朽化対策とか、清掃、新聞や文化事業をするやつらまでいるみたいだ。

「自治」なんて言葉が最近の若者に通じるか知らないが(僕も知らなかった)、吉田ではそれが当たり前。やさしく言うと「自分の事は自分で決める。自分たちのことは自分たちで決める」ってことだ。こんなの当然だって今では思うが、今までの人生、そんな風に決められたことなんて一度もなかった。敬語の件もそうだが、この国では権力にはおもねるのが基本なので、親や先生といったボスがいないと集団行動も取らせてもらえない。しかし吉田では違う。限定的ではあるけど、そこでは話し合って何かを決めるという、日本では本当に有数の民主主義の実践の場所があるはずだ。

面倒くさい事を書いたがとにかく寮に入ったら何らかの役割があるかもよって事だ。会議はしんどい、という人もいるかもしれないが。これもものちのち役に立つはずだ。とにかく自分の事を決めるという体験に興味がある人間はいますぐ入って自治をやってみた方が良い！

僕みたいな寮外生＝無関係者が何でこんな文章を書いているのか。というかなぜそもそも京大生の寮に無関係な人間が出入りしているのか？

この事にも色々理由があるみたいだ。共同生活のかわりに、寮費はクソ安い。これも諸先輩方が頑張ったおかげなのだが、寮は京大の厚生施設だから安いという理由もある。京都大学は学費も普通に高くなってきてるが国からの交付金もけっこうもらっている国立大学だ。その厚生施設なんだから国民のものだし、それ以外の税金を払っている人間達の厚生施設でもある。大学自体、人類みんなのものだって考えもある。

だから、吉田寮は寮生以外に開かれているのだ。と勝手に理解している（間違っていたらごめんなさい）

だから、クソ安い寮費だけど、こんだけ人の役に立っているぜ！という事を、将来とかじゃなく今すぐ見せられれば、吉田寮はもっと愛され、必要とされる。もちろん、住んでいる寮生の生活が一番だが、余裕があれば開いていく。っていう日本で唯一のスタンスをとっている吉田寮がすごいし、好きだ。ここでさまざまな大学の学生や、社会人とあってきたが、目の飛び出るような話ばかりで、本当にいろんな事を知った。タダの京大生や、ウチみたいな私大の学生は絶対に知らないようなやばい話をいっぱい聞いた。そういった話は大学の授業より絶対に面白いはずだ。こんな寮はもうここしかない。ふつうの勉強が好きで好きでたまらないという性癖の人以外は、ぜひとも今すぐ吉田寮に入って交流を繰り広げ、見識を広げた方が良い！

「タダの学生」って話がでたからついでに言うと、吉田寮にはさまざまな仮設資材（工事現場用の資材）が置いてある。そしてでかい食堂（今は食堂としては機能してない）があり、その中でその資材を使ってみんなで芝居をやったり、ライブをしたりしている。工事現場の資材はそういう時大活躍するのだが、ではライブをする前に工事現場の人がやってきて作業するかということそんなことはもちろんない。やっているのはもちろん寮生や寮外生たちだ。僕もここで工具の使い方、倒れない建物の建て方とかを京大生から教えてもらった。文学部とか、理学部の人間が関係なく作業しているのは何か笑える光景だし、そういう時に理系の知識がでて「おっ」と

思うことがあったり、逆に秀才っぽい奴がまったくダメだったりする。

「頭よりもなんでもいいから手をつかえ」と作家の開高健が言っていたが、脳みそがこんがらがった時に単管パイプを触っていると何か思いついたりして事もある。

一般的に「エリート」と言われる京大生が、現場系の仕事を覚えるっていうのは何かおもしろい。専門バカってのが深刻で、何かの専門家が発言すると新興宗教みたいにみんな信じてるけど、そういう奴はたいてい他の分野はからっきしで、きっとギリシャやアラビアの学者は空で笑っているだろう。学問の垣根なんて曖昧で、線を引いているけど無理がある。古代の学者はその点偉大で、何でもできて当たり前だし、芸術だってできないといけなかったらしい。吉田では、そういった作業もそうだし、人が多いことで各種オイシイ(?)バイトも回ってきて、広く社会を知れる。研究室では知ることのない様々な情報が直接体験できて、文でも理でも、よりよい研究者になれることうけおいだ！保証はしないが…。

ある知識がまったく関係ない他の何かに役立つ事ってよくあると思う。経験は多い方が良い。特に若い回生のうちは、できるだけ手を広げた方が良い。そういった意味で、新入生はとくに吉田に入った方が、あとあと同級生に大きな差がつけられていい！

最後に

新入生もそうじゃない人も、外見に惑わされずに、とりあえず吉田の中に入れてみてくれ、受付周辺にいる誰かに話しかけてみれば、寮の事を教えてくれるはずだ。

僕は寮と寮生・寮外生に人生を変えられたと思っている。だから、寮を目の前にして、入る資格がありながらそれをスルーするなんてとてもお進めできない。大学生活は長いんだしほんの少しぐらい、寮生の体験をしてみるだけでもいい。とにかく、ちょっと人と違う体験をしたいなっと思っている人は今すぐ入寮申し込みをするんだ。きっとたくさんの素晴らしい奴、素晴らしくない奴に出会えるから。

これからの時代、いかに京大生といえどイケイケの研究者でもなけりゃだんだん厳しくなってくる。そういった時、ゴキブリ並みの生存能力を発揮するのは寮を体験している奴に違いない。直接的に助けてくれる奴も知り合えるかも知れないし、寮にいりゃ世の中いろんな事して生きていけるって事がわかると思う。それがわかったときの感動と安堵感、刺激は他に変わりたいものだし、人生にきっと役に立つ。

さあ、迷ったら入寮だ！それからライブや演劇や変なイベントが起こしたって人がいたら、僕は食堂とかをうろうろしているから捕まえてくれ！じゃあまた春、吉田で会おう！